

連携だより

めくもいとおもいやりの医療・介護を

泌尿器科の最近の診療状況について

副院長 押野谷 幸之輔

平素よりたいへんお世話になっております。
泌尿器科の最近の診療状況につきまして報告させていただきます。



①安全性、確実性が格段に向上したフュージョン前立腺針生検

当科では、2018年よりBiojetによるフュージョン前立腺針生検を開始し、2024年5月までで石川県ではNo 1の件数（564件）を行っております。フュージョン前立腺生検は事前に撮影しておいたMRI画像とリアルタイムの経直腸的超音波画像をフュージョン（融合）させた画像をガイドに行う生検です。

現在前立腺癌の検出に最も精度の高い画像診断はMRIとされており、経直腸的超音波検査では全く判別できない癌結節が、MRIでははっきりわかるという症例は珍しくありません。これまでの超音波画像のみをガイドに行っていた生検に比べて格段に精度が向上いたしました。また、アプローチも経会陰的となりましたので、以前行っていた経直腸的生検で認められた輸血や内視鏡的止血を要する大出血や直腸内の常在菌を前立腺に押し込むことで発症する急性細菌性前立腺炎はほとんど認められなくなっております。当科では概ね日本泌尿器科学会作成の前立腺癌診療ガイドラインで推奨されているPSAのカットオフ値（50～64歳 3.0ng/ml, 65～69歳 3.5ng/ml, 70歳以上 4.0ng/ml）に則って精査を行っております。

なお、当医療圏の近接市で行われているS検診では、一律にPSA2.0ng/ml以上を要精検としているようであり、必須検査に未だに経直腸的超音波検査を指定しているなど過剰かつ無駄な検査を誘発するものとなっておりますことを付け加えておきます。

②適応が拡大したロボット手術の状況

泌尿器科領域におけるロボット手術の適応は前立腺癌に対する前立腺全摘術、小径腎癌に対する腎部分切除術に加えて、2022年より腎癌に対する腎摘除術、腎盂尿管癌に対する腎尿管摘除術も適応となっており、当科でも既に導入しております。

当科でこれまで行ったロボット手術の件数は、2024年5月末までで前立腺全摘381件、腎部分切除90件、腎摘除12件、腎尿管摘除8件です。これまで当科で行ったロボット手術では患者の生命に関わったり、後遺症を残すような合併症は1例も認めておりません。

なお、心肺機能低下などのために手術が難しい小径腎癌に対してはラジオ波焼灼術も開始いたしましたので合わせてご報告いたします。

③最新レーザーとディスポーザブル軟性尿管鏡導入により

大きな腎結石にも適応が広がった経尿道的尿路結石手術

昨年碎石用の最新レーザー(ツリウムファイバーレーザー)を北陸地区で初めて導入いたしました。また、細径のため故障しがちであった軟性尿管鏡ですが、昨年よりディスポーザブルのものを常に使用できる体制となりましたので尿路結石に対する経尿道的手術の設備がかなり充実いたしました。レーザーの碎石効果が拡大したことで今後これまで経尿道的手術だけでは対応できなかった大きな腎結石も適応となっていくものと考えております。

以上、当科の最近の診療状況につきまして簡単に報告させていただきました。今後も地域の皆様に最善の医療を提供できるよう努力してまいりますので、連携施設の皆様にはご紹介を賜りますようお願いいたします。

なお、当科の外来が大変混み合い、ご紹介いただいた患者さんにも長時間お待ちいただくケースがあり大変申し訳ございませんでした。今後は特に紹介状を持参された方につきましては、なるべく受け付け1時間以内に検査や診察を開始できるように外来スタッフ一同で取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。



新任医師のご紹介

7月から脳神経内科の常勤医師が1名増えました。毎週火曜日の午前と第2・第4水曜日の午前に診療を行います。完全予約制ですので、ご紹介の際は予め医療連携課へご連絡をお願いいたします。

皆様はじめまして。
7月から、公立松任石川中央病院で勤務させていただいています平 健一郎(ひら けんいちろう)と申します。
私は約13年間順天堂大学脳神経内科で神経学を学び、現在は脳卒中を専門に神経内科一般を幅広く診療させていただいております。
当院では、これまで順天堂大学で学んだことを最大限に生かした診療をご提供できればと思います。
何卒よろしくお願いいたします。



脳神経内科 平 健一郎

市民公開講座を開催します

白山南加賀ハートセンター
脳卒中・循環器病療養支援相談センター 開設記念

市民公開講座

日時：令和6年8月10日(土) 14:30~
場所：白山市市民交流センター 5階大会議室

特別講演

白山南加賀ハートセンターの
これからの役割について

金沢大学医学系循環器内科学 教授
高村 雅之 先生

※13:30~当院循環器内科医師による健康相談を行います

入場
無料

市民公開講座

日時：令和6年8月31日(土) 13:30~16:00
場所：松任文化会館ピーノ 大ホール

講演会 13:30~15:00

講演1 最新の心カテ

~当院の治療実績もふまえて~
大谷 啓輔 白山南加賀ハートセンター長

講演2 肝疾患に関する最近の話題

「奈良宣言2023」って知っていますか?
山下 竜也 副院長

特別プログラム 15:00~16:00

落語 蝶花楼桃花師匠 特別公演

第10回 地域医療連携機関交流会開催

6月28日（金）に、「第10回 公立松任石川中央病院 公立つるぎ病院 地域医療連携機関交流会」をグランドホテル白山 グローリーホールにて開催いたしました。平成24年から行っているこの交流会も、コロナ期間の3年間のお休みをはさみ、今年10回目を迎えることができました。

まずはじめに、白山石川医療企業団の病院事業をはじめ、地域医療の発展にご尽力いただいた白山ののいち医師会前会長の松葉明先生に、感謝状と記念品目録の贈呈を行いました。

つづいて、今夏当院に導入する「フォトカウンティングCT」の紹介後、『RAVI-TACE（橈骨動脈アプローチ 肝動脈化学塞栓療法）と次世代型CTについて』と題して、当院放射線科の折戸信暁医長が講演いたしました。

意見交換会では、医療機関・福祉施設等の医師、看護師、メディカルスタッフ、事務スタッフなど多職種の方々とマスクを外して会話を交わし、親睦を深めることができました。

ご多忙の中ご出席いただいた先生方、職員の方々にはこの場を借りて厚く御礼申し上げます。



フォトンカウンティングCTとは…

従来の標準的CTは、X線の光子を可視光に変換⇒光センサーで可視光を検出⇒電気信号に変換して画像を計算します。

フォトンカウンティングCTでは光子（フォトン）を直接デジタル変換して画像を計算する新技術（フォトンカウンティング）を搭載しています。

画像にするまでの行程が減るため、ノイズが少なく、低被曝で高精細な画像が得られます。



第10回 公立松任石川中央病院 公立つるぎ病院 地域医療連携機関交流会

